

◎令和2年度第2回子ども・子育て会議回答書及び意見書まとめ

所属等	氏名	回答内容		市回答
		保育園・児童クラブの申込み状況について	尾張旭市新・放課後子ども総合プランの策定について	
中部大学	大河内 修	――	――	――
瀬戸旭医師会	安藤 郁子	――	――	――
愛知県瀬戸保健所	岡元 洋子	――	――	――
尾張旭市小中学校長会	速水 一美	令和2年度のランドセル来館の利用状況を伝えてほしい。 放課後の居場所として活用できているのか、学校と児童館が離れている学校からは安全面での不安の声がある。 新・放課後子ども総合プランについて、教育委員会に諮ったものなのか。以前からこの会に教育委員会の人（指導主事）を出席させるべきとの話があったが、来年度以降の委員のメンバーに是非入れておいてほしい。	――	令和2年度実績及び令和3年度当初の状況等につきましては、令和3年度の第1回子ども・子育て会議で報告させていただければと考えております。 新・放課後子ども総合プランにつきましては、事前に教育委員会と調整を諮り委員の皆様へ報告させていただいております。なお、委員の選任につきましては、市の要綱により市職員を附属機関の委員とすることは難しいため、事務局として出席するなどの方向で検討していきたいと考えております。
愛知県私立幼稚園連盟旭瀬戸支部	近藤 信綱	――	――	――
社会福祉法人いしずえ会	加藤 多美	（感想）例え、待機児童が0になったとしても、保護者の本来のニーズに応えているのかどうかは難しい。保護者にとっての仕事と育児（家庭）の両立のしやすさになっていくためには、どうしたらいいのだろうと考えてしまう。	（感想）資料の準備等ありがとうございます。学童期の子どもたちは一見すると自分だけで放課後を過ごせてしまいますが、今の時代は仲間と群れて遊ぶことは難しくなりました。子どもが変わったというよりも、世の中が変わったので仕方ありません。世の中が変わった以上は、私たち大人が意図して、子どもたちの居場所やコミュニティを形成していく必要があると考えます。 地域と学校が連携した取組は、そういう意味でも大賛成です。新しいことを進めていくときには大変な御苦勞があるかと察しますが、子どもたちには、今の時期にしかない「時間や空間や仲間」が必要です。 尾張旭市の取組みが、子どもたちにとって当たり前の未来に繋がっていくことを心から祈っています。	御回答の内容にありましており、本市としましても難しい課題だとは認識しておりますが、今後も引き続き保護者のニーズにも寄り添った待機児童対策を進めていきたいと考えております。 新・放課後子ども総合プランにつきましては、今後は、令和2年3月に策定しました第2期子ども・子育て支援事業計画と一体的に推進していきますので御理解、御協力よろしくお願ひします。
尾張旭市学童クラブ連絡会	水野 寿美代	本市において北原山の土地区画整理が進んでいる事や、各地区でマンション等の増加により、子育て世帯がどれくらい増加するのか、保育園、児童クラブのニーズがどれくらい増加するのかも加味されているのか疑問です。 民間学童クラブもそれぞれ努力させていただき、引き続き待機児童解消に努めてまいります。	「枠組みを超えた事業」とはどんなものなのか全くわかりません。2枚の資料の文中に「学童クラブとの共存」が無い事に学童クラブ存続の危機感を覚えます。県内外でも大きな企業が学童事業において、公設民営を行っている所も増えていきます。父母会運営や小さな運営者は不安しか読み取れません。	今後も人口動向にも注視し、引き続き民間学童クラブ様の御協力も得ながら待機児童対策を進めていきたいと考えております。 「枠組みを超えた事業」とは、同段落文中にある放課後児童健全児童育成事業・放課後子供教室の一体的又は連携した実施等のことを指しております。 「学童クラブとの共存」につきましては、「4 基本方針(4) 地域の実情に応じた放課後児童クラブの開所時間の延長に係る取組」にもありますように、地域における民間学童クラブの有無等を踏まえ、共存共営の視点を持って推進していくこととしております。 なお、本市の放課後児童対策は、市学童クラブ連絡会に加入し、地域に根差して学童事業を行っていただいている各学童クラブ様の御理解、御協力があって初めて成り立つものであり、当該プランにおいても、そのことを念頭に記述しておりますので御理解いただきますようよろしくお願いいたします。
尾張旭市民生委員児童委員協議会	神野 みつ美	――	――	――
尾張旭市小中学校PTA連絡協議会	北川 由紀子	――	――	――
尾張旭市地域活動連絡協議会	松原 美保子	――	――	――
尾張旭市子ども会連絡協議会	富田 紀子	未満児の状況は相変わらずの現状ですね。 それ以降の年齢に関しては改善が見られていいことだと思います。引き続きよろしくお願いいたします。	――	引き続き、関係施設等と連携を図りながら待機児童対策を進めてまいりますので、御理解、御協力よろしくお願ひいたします。

日立ホムターミナルソリューションズ株式会社	藤田 政克	——	——	——
市民公募	泉原 沙弓	——	——	——
市民公募	清水 真奈	——	——	——